

赤字解消計画について

資料2-2

平成28年度法定外繰入額	1,570,000,000
決算補填目的の法定外繰入	1,282,885,511
決算補填目的の法定外	0
保険者の政策によるもの	1,282,885,511
保険税の緩和を図るため	1,282,885,511
決算補填目的以外の法定外繰入	287,114,489
決算補填目的以外の法定外繰入	287,114,489
保険税の減免額に充てるため	257,200
地方単独事業の医療給付費波及増	65,800,000
保健事業費に充てるため	221,047,289
基金積立	10,000



法定外繰入後の歳入歳出の収支は、歳入が584,753,929円多かった。
↓
実質の繰入必要額は、985,246,071円で決算補填目的に優先的に充てるとすると、
決算補填目的に必要な繰入額は、698,131,582円となる。
したがって決算補填目的の1,282,885,511円のうち、
584,753,929円は解消していることになる。



赤字解消計画の対象	
(平成28年度)	
決算補填目的の法定外繰入	1,282,885,511円
うち解消済額	584,753,929円
実質の赤字残額	698,131,582円 → 解消すべき赤字額



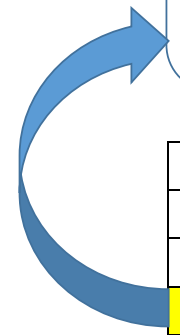
赤字解消計画	
解消すべき赤字額(H28)	698,131,582円
H30年度赤字解消額	237,272,421円 (H28赤字額-H30赤字額)
H31年度赤字解消額	155,000,000円
H32年度赤字解消額	19,000,000円
H33年度赤字解消額	145,000,000円
H34年度赤字解消額	18,000,000円
H35年度赤字解消額	123,859,161円

平成30年度の保険税必要額 8,586,034,161円
 保険税収納見込額 7,500,000,000円
 保険基盤軽減額 625,175,000円
 差引額(赤字額) 460,859,161円

被保険者数 70,000人
 1人あたり赤字解消必要額 6,583円

↓

①税率見直し 2年毎(H31,33,35) 2,000円
 ②医療費適正化 年 300円



年度	H31	H32	H33	H34	H35
被保険者数	67,620	65,321	63,100	60,955	58,882
被保険者一人あたり赤字削減額	2,300	300	2,300	300	2,300
赤字削減額	155,526,000	19,596,276	145,130,020	18,286,383	135,428,949